

構成自治会
四角 / 両谷
原町 1・2・3
有弥の里 1・2
光陽台 1・2・3・南
日蔭野 1・2・3・4・5・6

住みたい 住みよい 住みつづけたい 福岡南



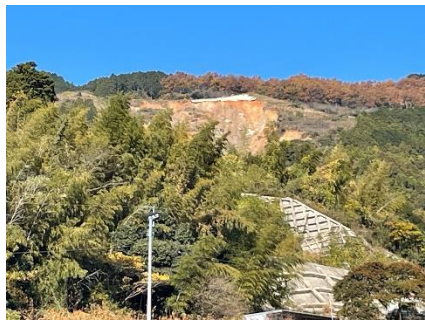
～皆で創ろう！「ひと」も「地域(まち)」も輝く郷～

発行
福岡南地域郷づくり推進協議会
責任者 会長 石原 政道
事務局 南しよっとセンター内
☎ 0940-72-5138
sato-minami@bc.wakwak.com

『九州北部豪雨災害研修（朝倉・田主丸）』



今回 11月26日に防犯・防災部会の九州北部豪雨災害研修が行われました。部会員8名、市職員1名、広報委員1名の計10名での研修でした。2017年7月に起きた未曾有の災害から6年の月日が経ちました、朝倉市の河川や水害の被害にあった学校、観光名所の三連水車など綺麗になっている場所もありました。しかし、山手の方に向かうと1メートル程の小川があり、その周りを数十メートル規模の土砂が流れた跡が残り、災害の怖さを実感しました。災害の爪痕をひしひしと感じていると、ふと目に入ってきたのは土砂が通ったであろう小川の横に、1本の木が残っていました。土砂などで幹は剥がれており、恐怖とともに生命の力強さも感じ取れました。



今年7月の大雨では、田主丸の方でも土砂災害があり、山から流れてきた土砂が民家や田畑を押し流し、半壊している家々がありました。

このような災害はテレビでは目にすることはありますが、実際に目の前にすると言葉にならない程でした。日々の安全や災害対策を一人ひとりが考え、近隣や自治会、地域郷づくり、そして市へと危機管理の輪をつなげていかななくてはならないと思いました。

広報委員長 柴田 英幸



福岡南地域郷づくり自主防災会

近年は各地で記録的な豪雨に伴う水害が多発しています。本自主防災会も地域に西郷川を抱え、避難場所の確保は喫緊の課題となっていました。

それがこの度、郷づくり推進協議会と高台に位置する自治会との間で「水害発生時における避難場所の運営に関する協定」が実現、取り組みが大きく前進したので概要をお知らせします。

水害発生時における避難場所の運営に関する協定書

締結日	自治会名
令和5年 9月7日	両谷区自治会
9月7日	有弥の里2区自治会
10月4日	原町自治会連合会
10月4日	有弥の里1区自治会

今回の協定にご賛同いただいた自治会及び関係者各位におかれましては誠にありがとうございました。

